

平成25年度第3回地域協議会は2月13日(木)午後3時から二ツ井町庁舎「大会議室」で行われた。

二ツ井公民館の耐震診断結果、恋文の里で暮らそう新規就農支援モデル事業、JR二ツ井駅前自転車駐車場のトイレ供用廃止について報告を受け審議した。

## 1 案件 (報告)

### (1) 二ツ井公民館の耐震診断結果について

教育委員会施設を安心して利用していただくために、二ツ井公民館の耐震診断を行った。

#### 1 耐震診断判定に用いた構造耐震指標

この施設は避難施設に指定され、通常の使用時にも多数の利用者が利用する施設であることから国土交通省から示されている「官庁施設の総合耐震計画基準」Ⅱ類 災害応急対策活動に必要な施設及び多数の者が利用する建築物として、一般建築物 I s 値 0.6 の 1.25 倍、0.75 を構造耐震判定指標とした。I s 値とは、構造耐震指標のことで、地震に対する建物の強度等を考慮し、震度 6～7 程度の地震に対する評価である。I s 値 0.6 以上は、倒壊、又は、崩壊する危険性が低いとされている。

#### 2 耐震診断の結果

本館は1階長辺方向で、講堂については、1、2階等の長辺、短辺方向の耐震性が、判定指標を下回る結果となった。内容については、本館の1階長辺方向が、一部 0.75 を下回るが、0.6 を超えていることから、今までどおり使用していきたいと考えている。また、講堂については、1、2階の長辺、短辺方向で一部 0.6 を下回っているが、地震による倒壊の危険性が高いとする 0.3 を上回っていることから、非常時の避難誘導等の安全を最優先に補強時期まで使用していきたいと考えている。

#### 3 耐震補強方法

本館については外付ブレス 3 ヶ所程度、外壁の一部に V 字型のブレスを設置する方法が考えられ、二ツ井中学校校舎の耐震補強がその例である。

講堂については、壁ブレス増設、ブレス端部及び方杖補強等で斜め材による補強が考えられる。



※ 熱心な審議が行われた第3回地域協議会  
(委員 8 名が出席)

#### 4 今後のスケジュール

平成26年度は耐震補強計画・実施設計業務委託を実施し、平成27年度には補強工事等を予定している。

### (2) 恋文の里で暮らそう新規就農支援モデル事業について

この事業は、高齢化等後継者不足にある農山村集落に新規就農者が就農・定住することで魅力ある農山村の活力を取り戻し、地域の伝統芸能・文化の継承、農山村と周辺農地等の持つ多面的機能の維持・保全を図ることを目的としており、平成25年度から3カ年の市単独新規事業である。

事業の内容は、高齢化が特に進展している二ツ井地域の農山村集落を対象として3年で2～3世帯程度を新規就農で定着させようとするもので、鬼神、濁川、田代、荻又石の集落を対象としている。今年度は、全国版の新聞に2回見学会の募集広告を掲載したところ、男性1名より応募があり2月6～7日に二ツ井地域の集落を見学した。現地見学会の感想は、「訪問先の区長さん等優しい人たちに触れ合うことができ、地域的にも興味を持った」とのことであった。

26年度は新規就農希望者の募集と現地見学会

を予定しているほか、見学者が希望するのであれば、今後の就農・定住につなげていけるようサポートしていきたいと考えている。

### 【主な質疑（Q）と回答（A）】

**Q）この4集落（鬼神、濁川、田代、苅又石）を選定した基準を聞きたい。**

**A）**集落の選定については、65歳以上の人口割合が二ツ井地域で41.6%、能代地域は33.0%で、二ツ井地域が高い。特にこの4集落は住民65歳以上の割合が50%以上となっている。このまま行くと、社会的共同活動の維持が困難になると思われ、少しでも若い人たちに定住してもらい、集落機能を低下させないようにしたいとの考えからである。

**Q）資料から事業費が25年度、3,462千円とある。また、支援概要を見ると住宅等改修費補助や農業用機械等購入費補助が限度額500万円とある、26～27年度となれば、かなりの額になるのではないか。**

**A）**事業費3,462千円の主な内容は、全国版の新聞広告料2回分と現地見学会参加旅費の補助である。

住宅等改修費補助や農業用機械等購入費補助については、就農・定住の意志が固まり、移り住みたいとしたときに予算化する。

**Q）就農先と定住先が同じでないといけないのか。**

また、この事業は各集落の人口増を目的とするのか、それとも二ツ井地域全体の人口増を目的とするのか聞きたい。

**A）**農山村を存続させたいということが、この事業の第一のコンセプトである。まずは農山村に住んでもらい付近の農地を使って農業経営をしていただく。このモデル事業をとおして、就農される方の意見を聞き、将来的にどのような形がいいのか検討したい。ゆくゆくは二ツ井地域全体のことや、街中に住んで農山村の農地で農業経営できるのか、についても検討したい。

**Q）就農希望者があらわれた場合、空き家等は市で斡旋するのか。また、空き家の状態の基準はあるのか。**

**A）**市では、空き家、空き農地の登録制度を実施している。この4集落に関しては、区長から情報提供を受け、空き家、空き農地を確認している。希望者に物件を紹介しながらマッチングさせたいと考えている。空き家の基準については、具体的に設けていない。現況の確認や築年数が目安となる。

### （3）JR二ツ井駅前自転車駐車場のトイレ

#### 供用廃止について

自転車駐車場建設以前は、二ツ井駅のトイレが駅舎から離れた場所にあり、建物の老朽化等もあって利用者に不便をかけていた。そこで町では、平成12～14年にかけて二ツ井駅前自転車駐車場建設と併せてトイレも整備し、駅トイレとしての利便性を図った。その後、平成24年に二ツ井駅のトイレがリニューアルされたことに伴い、駅トイレとしての役割を担ってきた自転車駐車場トイレについて、3月いっぱいをもって供用を廃止する。周知については、4月までに市の広報、現地への貼紙等により行いたい。

参考までにトイレ利用を継続した場合、26年度予算で、1,800千円ほどかかる。これには簡易水道給水装置の工事費、約800千円が含まれており、これを除いても毎年1,000千円ほどの維持管理費がかかる。

### 【主な質疑（Q）と回答（A）】

**Q）頻度は少ないが便利であると思って、利用していた。出来れば継続して利用したい。**

**A）**駅トイレがリニューアルされたことに伴い、自転車駐車場トイレが担ってきた役割は終えたとの考えである。駅舎に利用できるトイレがあるので、そちらを利用してほしい。

編集、発行

〒018-3192 能代市二ツ井町字上台1-1

能代市二ツ井地域局総務企画課 Tel 73-2112